

11月

すいもん通信

社会福祉法人 晃宝会

(あじさい園・あじさい園 宝)

オレンジカフェ すいもん

奈良市水門町 47-3

TEL 0742-93-9791



2025 イベントカレンダー

(営業時間 11:00 ~ 15:00 カフェ:カフェ営業日)

1	土		16	日	
2	日		17	月	
3	月		18	火	カフェ/ しゃべり場
4	火	カフェオープン	19	水	
5	水		20	木	
6	木		21	金	カフェオープン
7	金	カフェオープン	22	土	カフェ/二胡教室 健康体操 10:00~ 野菜販売
8	土		23	日	
9	日		24	月	
10	月		25	火	カフェ/二胡教室 トント造形教室
11	火	カフェ/手作り教室	26	水	
12	水		27	木	
13	木		28	金	カフェ/二胡教室
14	金	カフェ/二胡教室	29	土	
15	土		30	日	

＜本末浩司先生 健康体操 (けんそう倶楽部)＞

11/22 (土) 10:00 ~ 11:00

奈良市社会福祉協議会、
若草地域包括支援センターにご協力いただきます。



＜しゃべり場＞

11/18 (火) 13:00~

(認知症の人と家族の会主催)
皆さまのご参加お待ちしております！



＜森脇眞理子先生 二胡教室＞

11/14・22・25・28

中国の伝統的な美しい擦弦楽器。
まずは見学だけでもお気軽にどうぞ！



＜トント造形教室＞

11/25 (火) 13:00 ~

ガラスの置き物のワークショップと作品販売

参加費：1000円



＜久賀裕子先生 クラフト教室＞

開くとパッと飛び出す手作りのカード！



「あきらめない心」

2ヶ月後に成人式を控えたごくごく普通のお嬢さん、伊藤真波さん。ICUのベッドで気がつくくと右腕はこなこな。歯もなく傷だらけの顔は薬の副作用でパンパンに腫れ、痛くて眠れない毎日。この現実から逃げ出したくてベッドであれば「お母さん、助けて」と叫び続けた。こなこなにくだけた腕は感染し、いよいよ別れを告げるしか道はなく、力をふりしぼり自分の口でやっと言えた。

「先生、私の右腕を切ってください」

交通事故の1分前に戻りたい・・・。

当時、看護学校の2年生、学校を辞めてこれから一生実家で親と一緒に暮らせばいいと父母は言った。しばらくして学校の先生に「あなたはもうしたいですか。」と聞かれ、「もう逃げたくない、私は看護師になりたいです。」と答えた。先生は「それであれば看護師専用の義手を準備してください」と言われ、学校を続けられるように国に働きかけ全力でサポートしてくれて、前例のない片腕の看護師となった。

しかし思うように生きられず、その時上司からかけられた言葉は「被害者ヅラしない、助けて欲しいと言え、できないことはできないと言え」だった。何かにぶつかっても、自分で起き上がれる強い人間になりたいと決意し、水泳を始め、北京とロンドンオリンピックの競泳日本代表となった。

2015年結婚、3人のお子様に恵まれた。しかし、重さ3kg以上の片腕がないとまっすぐ歩けない、首の座っていない赤ちゃんを抱っこできない、オムツが変えられない、お乳を飲ませることができない、お料理ができない、出かけられない・・・、しかし、少しずつ少しずつ足を使ったり、口を使ったり、工夫をしながらできるようになった。

静岡市で育った伊藤さんだが、関西の病院で働くことができて、笑顔になれたと感謝して、関西のこの町で家族と一緒に一生懸命生きていくことにした。優しいご主人と3人の娘様と幸せな暮らしをされている。

さらに、それだけではありません。伊藤さんはヴァイオリニストです。ヴァイオリニスト専用の世界にひとつの義手をつけて、肩甲骨の動きで弓をあやつり、見事に3曲披露された。

幸せになりたいから、家族の喜ぶ顔が見たいから、一心不乱に伊藤さんの日常生活はつづきます。